

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	・新人教育で技術や知識は徐々に向上しているが、入居者の行動に対する危険を予知し、予防的な役割を果たすことができない。	・入居者の行動に伴う危険予知を行い、予防的な役割ができるようになる。 ・危険が生じた時に、適切に対応することができる。	・入居者各人の様々な行動に対して考えられる危険の予想を表にする。それに対して、介護者側の行動の基準の表を作成する。	12ヶ月
2	13	・ベテランの介護職員にも各人に介護の癖があり、良くない癖を自覚せず行っていることがある。	・自分の介護の癖を自覚し、悪い物なら修正する。	・自覚している介護の癖を表にまとめ、修正案を記入して、できたかどうかを記録していく。 ・自分で気づかない介護の癖を職員同士話し合っって記入し、修正案を作成してできたかどうかを記録していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。